



岐阜聖徳学園大学附属幼稚園発行

赤や黄色に色づいた木の葉が風に舞い散り、季節は秋から冬へ移り変わろうとしています。幼稚園では来年の春に向けて年長さんがパンジーの苗を、年中と年少さんがチューリップの球根を植えました。寒い冬の間、冷たい風や雪にも耐えながら土の中で芽を出し、花を咲かせるためのエネルギーを蓄える植物の生命力には驚かされます。子ども達もいろいろな経験を通して、どんなことにもくじけず前向きに生きる力を身につけて欲しいと思っています。

この時期にいつも思い出す「みんなちがって みんないい」という金子みすずさんの詩の一節があります。この詩には、一人ひとりにはそれぞれの良さがあり、お互いみんな大切だね…という思いが込められています。子どもの成長や発達にはそれぞれ個人差があります。つい同年齢のお子さんと比べてしまうことがあるかもしれませんが、わが子を大切に思うからこそ心配したり、悩んだり…子育ては本当に大変です。楽しいことや嬉しいことをいっぱい経験しながら、小さな成長を喜び合える心のゆとりも大切にしていきたいものです。

【今月の歌】 こんこんクジャンのうた

- ①りすさんが マスクした ちいさい ちいさい  
ちいさい ちいさい マスクした  
コンコンコン コンクジャン
- ②つるさんが マスクした ほーそい ほーそい  
ほーそい ほーそい マスクした  
コンコンコン コンクジャン
- ③ぶうちゃん まるいマスク
- ④かばさん おおきいマスク ⑤ぞうさん ながーいマスク
- ⑥〇〇ちゃん かわいいマスク



むっくり くまさん

むっくりくまさん むっくりくまさん あなのなか  
ねむっているよ グーグー ねごとをいって ムニャムニャ  
めをさましたら めをさましたら たべられちゃうよ

【今月の絵本紹介】 おいしいともだち

作・絵：とよた かずひこ 出版社：童心社

げんきいっぱい食べものたち、たくさんめしあがれ！  
ごはんの時間が楽しくなる食育絵本です。

「ももんちゃん」「バルボンさん」シリーズでおなじみの絵本作家とよたかずひこさんのほのほのとしたシリーズ絵本です。おいもさんがね… おにぎりくんがね… たまごさんがね…とそれぞれの食べ物の特徴をユニークにとらえながら語りかけるようにお話が進みます。「しんばいごむよう！」が決め台詞になって最後のページではすぐにも食べたくなくなってしまいそうです。なっとうさん、とうふさん、すいかくん、りんごくん、いちごさん、ばななくん、とうもろこしくんのお話もあります。

わたしと小鳥とすずと 金子 みすず

わたしが両手をひろげても、  
お空はちっともとべないが、  
とべる小鳥はわたしのよう、  
地面（じべた）をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、  
きれいな音はでないけど、  
あの鳴るすずはわたしのよう、  
たくさんうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、  
みんなちがって、みんないい。

かぜの予防をしっかりと

かぜのウイルスは冬の寒さと乾燥が大好き。そろそろ流行が気になります。日ごろから予防を心がけて、元気に冬を過ごしましょう！

かぜ予防6か条

- ① うがい、手洗い
- ② 汗をかいたらすぐ着替え
- ③ バランスのよい食事
- ④ 部屋の換気と加湿
- ⑤ 規則正しい生活リズム
- ⑥ 人込みを避ける